

接続・設定ガイド

液晶カラーテレビ

形名



ティー シー ビー エイチ

4T-C60BH1

4T-C50BH1

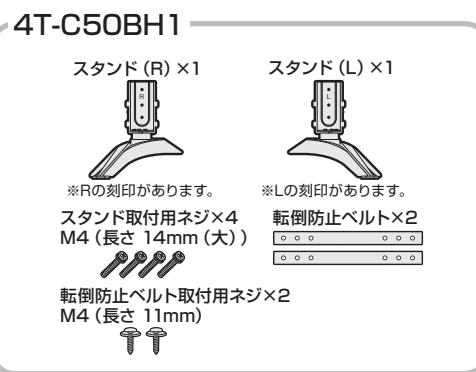
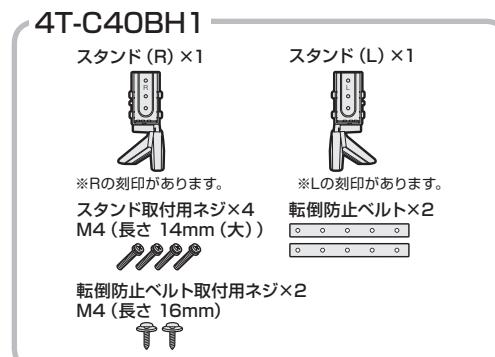
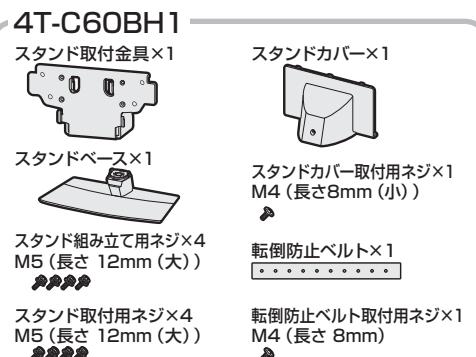
4T-C40BH1

- 本書では特に機種名を明示している場合を除いて、4T-C60BH1 を例にとって説明しています。4T-C50BH1/4T-C40BH1 は外形寸法などは異なりますが使い方は同じです。
- 本書は、基本的な接続と設定について説明しています。
- 基本的な操作方法は「取扱説明書」(別冊)をご確認ください。
- 本機の詳しい説明は取扱説明ガイド([Webで確認](#))をご確認ください。(取扱説明ガイド([Webで確認](#))のリンク先については「取扱説明書」(別冊)をご覧ください。)

もくじ

付属品を確認してください	1
1置く場所を決める	2
2スタンドを取り付ける	3
3リモコンの準備と使いかた	6
4-1アンテナをつなぐ	7
4-2レコーダーなど外部機器とテレビを接続する	11
5電源コードをつなぐ	12
6転倒防止対策をする	12
7「かんたん初期設定」をする	14
8放送が映らないときは	15

付属品を確認してください



- リモコン×1
- リモコン用単4形乾電池×2
- 取扱説明書(本書)×1
- 接続・設定ガイド(本書)×1
 - 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
 - This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
- 保証書×1

※本機は従来のB-CASカードに代わり、「ACASチップ」を内蔵しています。B-CASカードは同梱されていません。
詳しくは、取扱説明書(別冊)の50ページをご覧ください。

別売品について

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

No.	品名	形名	対応機種
1	壁掛け金具	AN-52AG6	4T-C60BH1

4T-C50BH1 / 4T-C40BH1 の壁掛け金具の適合は、最新のカタログやサポートページでご確認ください。

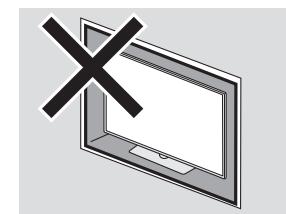
テレビを見るまでの準備

1 置く場所を決める

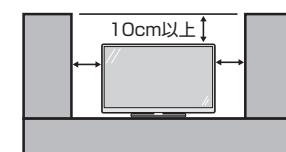
- 本機は付属のスタンドを取り付けて設置します。(別売の壁掛け金具などを使って設置することもできます。)

以下のような設置のしかたをしないでください。

- 風通しの悪いところに入れない
- 密閉した箱に入れない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 布などをかけない
- 極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない(使用温度 0°C ~ 40°C)
- 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。



- 本体の左右及び上部はそれぞれ 10cm 以上のスペースを空けてください。



エアコンのすぐ下や加湿器の近くなど、水滴のかかる場所への設置はしない

- 水ぬれ禁止
- 1m以上離す
- 水滴が落ちて内部に水が入ると、火災・感電・故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口からは、1m以上離して設置する事をおすすめします。

設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。

- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、転倒しにくい台をお使いください。

- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してテレビ台を固定してください。

設置後は転倒防止を必ず行ってください。

- 転倒防止を行なう前にすべての接続を済ませておいてください。

△ 注意

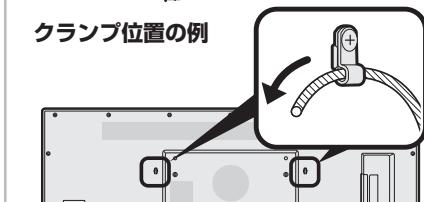
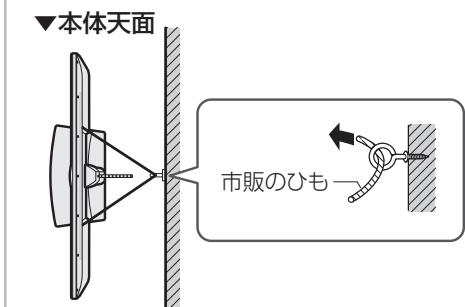
- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行なってください。

- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

転倒防止のしかた

- 壁または柱に、市販のヒートン(ひもがはずれない形状のもの)を取り付ける
 - 取り付けたヒートンが容易にはずれないことを、確認してください。
 - 背面のクランプの穴の内径は 4mm です。内径の太さにあつたひもを使用してください。

- クランプと、壁または柱に取り付けたヒートンの穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する

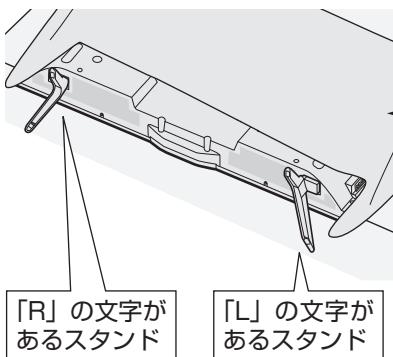


2 スタンドを取り付ける

4T-C40BH1 / 4T-C50BH1 をご使用の場合

- 4T-C40BH1 と 4T-C50BH1 は、スタンドの形状は異なりますが、取り付け手順は同じです。

1 ディスプレイ部にスタンドを取り付ける



◆ ご注意 ◆

- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、すべてのネジが確実に締まっているか、確かめてください。

ネジは JIS2 番のドライバー（市販品）を使って、しっかりと締め付けてください。

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは 1.5N.m (15kgf.cm) に設定してください。

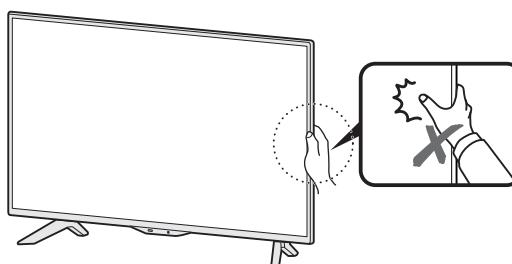
◆ 重要 ◆

- 必ず2人以上でスタンドの取り付けを行ってください。

以上でスタンドの取り付けは完了です。

テレビ本体を起こすときは

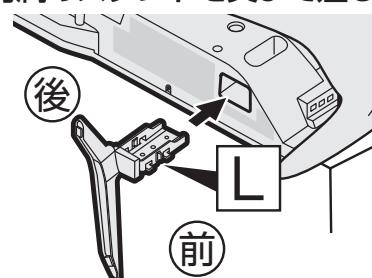
- テレビ画面を指で強く押さないようにご注意ください。



①テーブルを準備して、ディスプレイ部を寝かせる

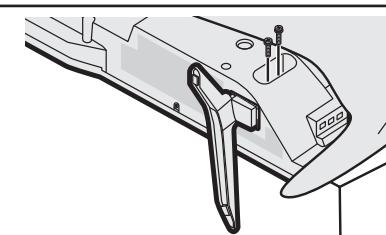
- 液晶パネルの破損を防ぐため、テーブルなどの台の上に毛布など柔らかい布を敷き、ディスプレイ部を寝かせてください。
- 設置が完了するまでは、本体の保護シート等を外さないでください。
- 50V型の場合、梱包材をテーブル代わりに使用することができます。梱包ケース前面の「簡易テーブルの作りかた」をご覧いただき、簡易テーブルを作り、その上に柔らかい布を敷き、ディスプレイ部を寝かせてください。

②付属のスタンドを奥まで差し込む



③付属のスタンドネジ2本で左用スタンド(L)を固定する

- JIS2番のプラスドライバー（市販品）を使用します。
- スタンドが動かないように支えながらネジを締めてください。



④もう一方のスタンド(R)も同じように固定する

スタンドを取りはずすときは

- 本機のスタンドを外すときは、「スタンドを取り付ける」の逆の手順でスタンドを取り外してください。
- 液晶画面の破損を防ぐため、テーブルなどの台の上に毛布など柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせてください。

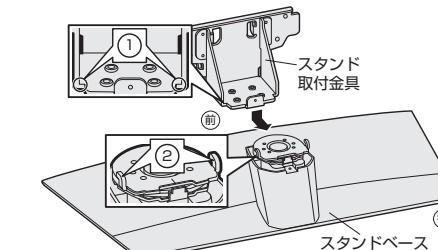
◆ ご注意 ◆

- 本機を立てた状態でスタンド取付用ネジをはずすと、本機が転倒する可能性があり大変危険です。

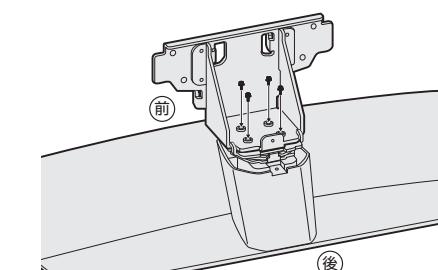
4T-C60BH1 をご使用の場合

1 スタンドベースにスタンド取付金具を差し込む

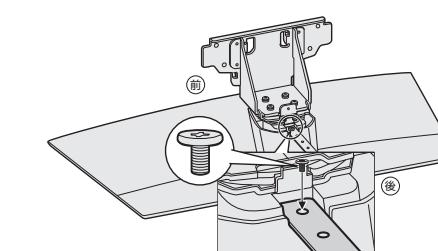
- スタンド取付金具の①をスタンドベースの突起②に差し込みます。



2 スタンド取付金具とスタンドベースをスタンド組立用ネジ(大)4本で固定する



3 転倒防止ベルト取付用ネジ1本で転倒防止ベルトを固定する



- 転倒防止ベルト取付用ネジは転倒防止ベルトの袋の中に同梱されている頭の大きいネジをご使用ください。

◆ 重要 ◆

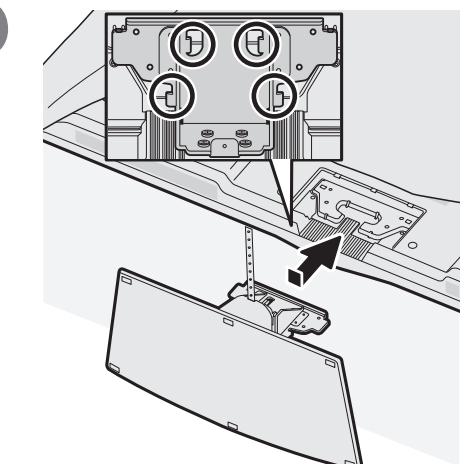
- 必ず2人以上でスタンドの取り付けを行ってください。

ネジは JIS2 番のドライバー（市販品）を使って、しっかりと締め付けてください。
電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは 2.0N.m (20kgf.cm) に設定してください。

4 テーブルを準備して、ディスプレイ部を寝かせる

- 液晶画面、LED部の破損を防ぐため、テーブルなどの台の上に毛布など柔らかい布を敷き、ディスプレイ部を寝かせてください。
- 設置が完了するまでは、本体の保護シートを外さないでください。
- 梱包材をテーブル代わりに使用することができます。梱包ケース前面の「簡易テーブルの作りかた」をご覧いただき、簡易テーブルを作り、その上に柔らかい布を敷き、ディスプレイ部を寝かせてください。

5 スタンドを本機に取り付ける

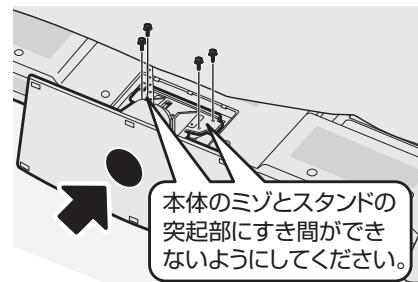


- スタンド取付金具の突起4箇所が本機の穴に確実に入っているか確認してください。

3 リモコンの準備と使いかた

6

スタンド取付用ネジ(大) 4本でスタンドを固定する

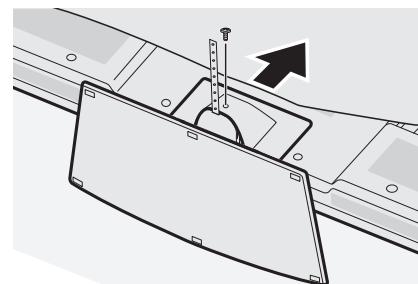


- ・スタンドの底の●部分を押し込みながらネジを締めてください。

7

スタンドカバーを取り付ける

- ・スタンドカバーを矢印方向にスライドさせ、スタンドカバー取付用ネジ(小)で取り付ける。



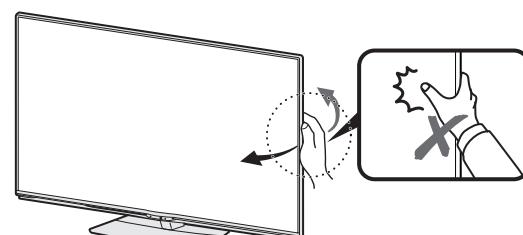
◆ ご注意 ◆

- ・固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、すべてのネジが確実に締まっているか、確かめてください。

以上でスタンドの取り付けは完了です。

テレビ本体を起こすときは

- ・テレビ画面を指で強く押さないようにご注意ください。



スタンドを取りはずすときは

- ・本機のスタンドを外すときは、「スタンドを取り付ける」の逆の手順でスタンドを取り外してください。
- ・液晶画面の破損を防ぐため、テーブルなどの台の上に毛布など柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせてください。

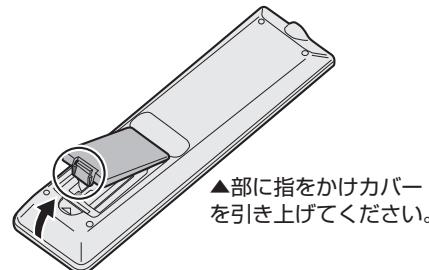
◆ ご注意 ◆

- ・本機を立てた状態でスタンド取付用ネジをはずすと、本機が転倒する可能性があり大変危険です。

◆ リモコンに乾電池を入れる

1

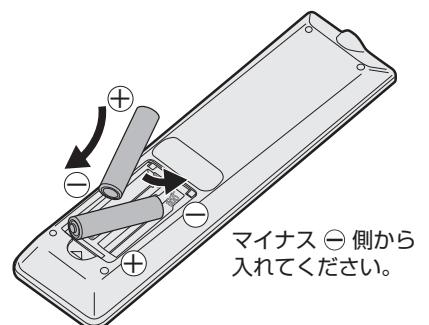
リモコン裏側の 電池カバーを開ける



2

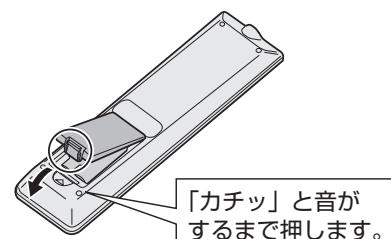
付属の単4形乾電池を 入れる

- ・乾電池が浮かないよう、しっかりと奥まで入れてください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池は、2本とも同じ種類を使用してください。



3

電池カバーを元どおりに閉める



◆ おしゃらせ ◆

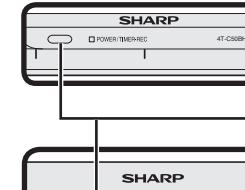
リモコン使用上のご注意

- ・リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- ・リモコン番号(⇒「取扱説明書(別冊) 11 ページ」)を設定する機能があるため、リモコンを付属している本機以外のAQUOSでは正しく操作できない場合があります。
- ・リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。
- ・充電式電池(ニッケル水素など)は使用しないでください。誤動作することがあります。
- ・リモコンの乾電池は6か月に一度、乾電池からの液漏れや変形などの異常がないか、確認ください。一度液漏れを起こしたリモコンは、正常に動作しない場合があります。

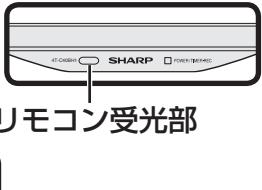
◆ リモコンで操作できる範囲

- ・リモコン送信の範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に1個のリモコンボタンを押してください。

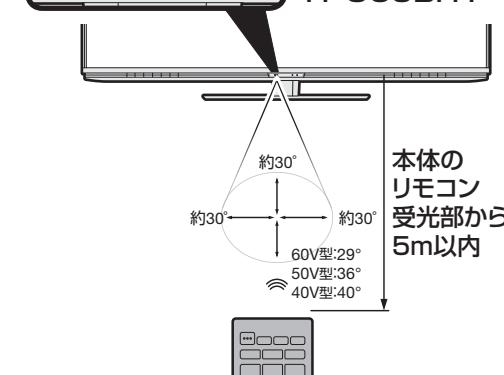
4T-C50BH1



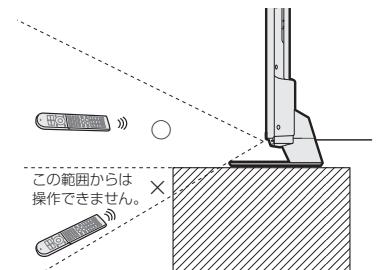
4T-C40BH1



4T-C60BH1



設置している台とリモコン操作の位置により、動作しないことがあります。



ご注意

画面下の中央付近に、ぬいぐるみなどの小物を置かないでください。
リモコン受光部の妨げになり、動作しにくくなることがあります。

4-1 アンテナをつなぐ

本体各部の名前

背面 4T-C60/40BH1

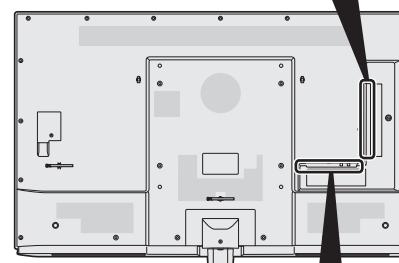
ヘッドホン端子
(ϕ 3.5、ステレオミニジャック)

※プラグ形状が「3極」タイプのヘッドホン(イヤホン)をご使用ください。

入力5(AV入力)
(入力3音声入力兼用)

・映像とステレオ音声を出力する機器(黄:映像、赤:右音声、白:左音声)と接続する場合は、片側が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。

コントロール端子
・保守点検用の端子です。通常は使用しません。

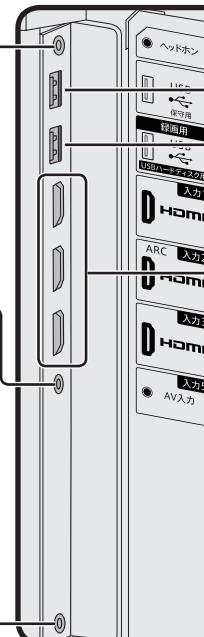


LAN端子(10BASE-T
/ 100BASE-TX)

・デジタル放送の双方向通信で使用します。

HDMI対応機器をつなぐ

入力4(HDMI)



USB端子(保守用)

・保守点検用の端子です。通常は使用しません。

外付けハードディスクをつなぐ

USB端子
(外付けハードディスク用)

・USBハードディスク、USBポータブルハードディスクに対応しています。

HDMI対応機器をつなぐ

HDMI入力端子
入力1・入力2(ARC対応)・
入力3

アンテナをつなぐ

⇒9~10ページ

アンテナ入力 地上デジタル

アンテナ入力

BS・110度CS(HD・4K)

オーディオ機器をつなぐ

デジタル音声出力(光)端子

背面 4T-C50BH1

ヘッドホン端子
(ϕ 3.5、ステレオミニジャック)

※プラグ形状が「3極」タイプのヘッドホン(イヤホン)をご使用ください。

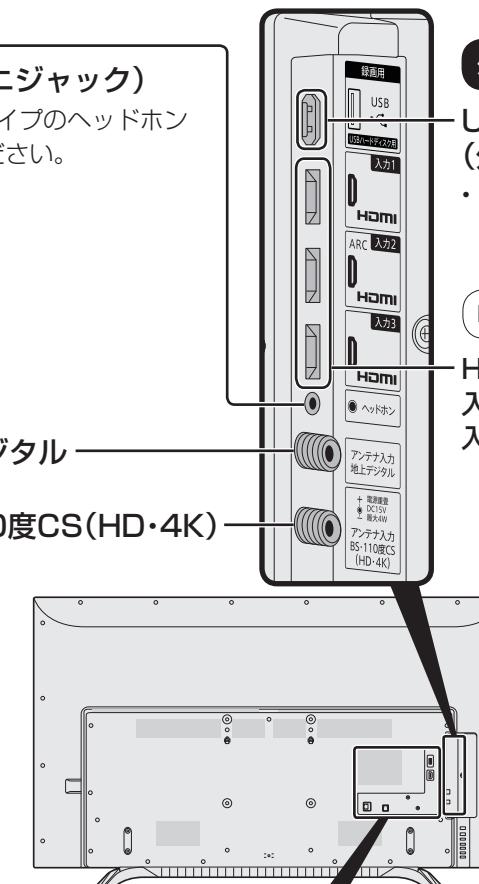
外付けハードディスクをつなぐ

USB端子
(外付けハードディスク用)

・USBハードディスク、USBポータブルハードディスクに対応しています。

HDMI対応機器をつなぐ

HDMI入力端子
入力1・入力2(ARC対応)・
入力3



LAN端子
(10BASE-T / 100BASE-TX)

・デジタル放送の双方向通信で使用します。

USB端子(保守用)

・保守点検用の端子です。通常は使用しません。

HDMI対応機器をつなぐ

入力4(HDMI)

入力5(AV入力)
(入力3音声入力兼用)

・映像とステレオ音声を出力する機器(黄:映像、赤:右音声、白:左音声)と接続する場合は、片側が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。

コントロール端子

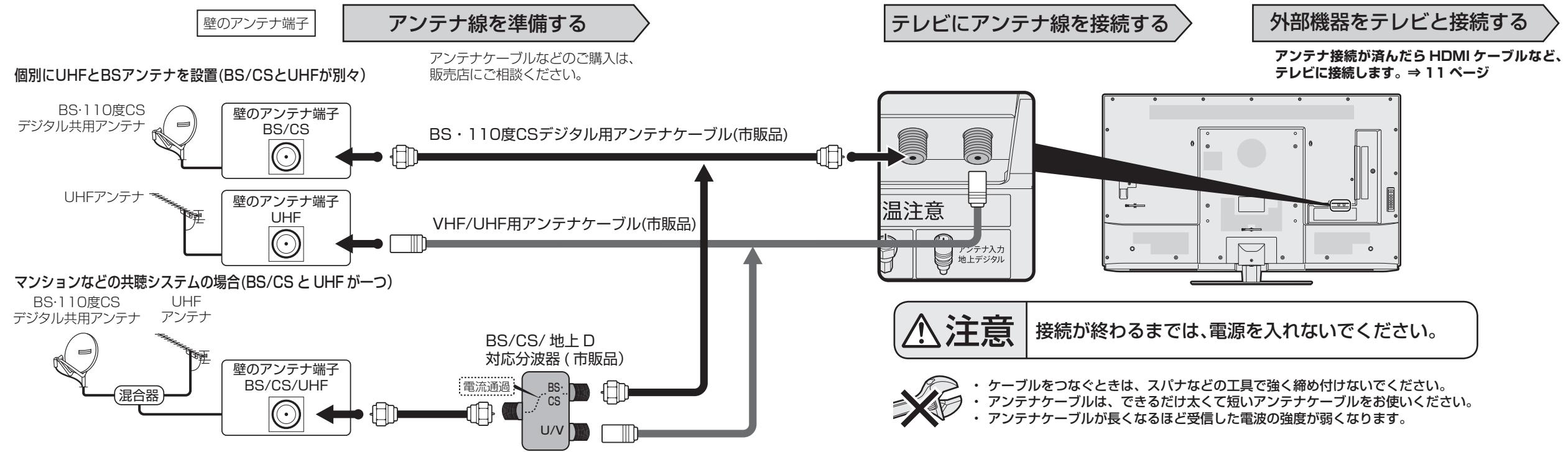
・保守点検用の端子です。通常は使用しません。

オーディオ機器をつなぐ

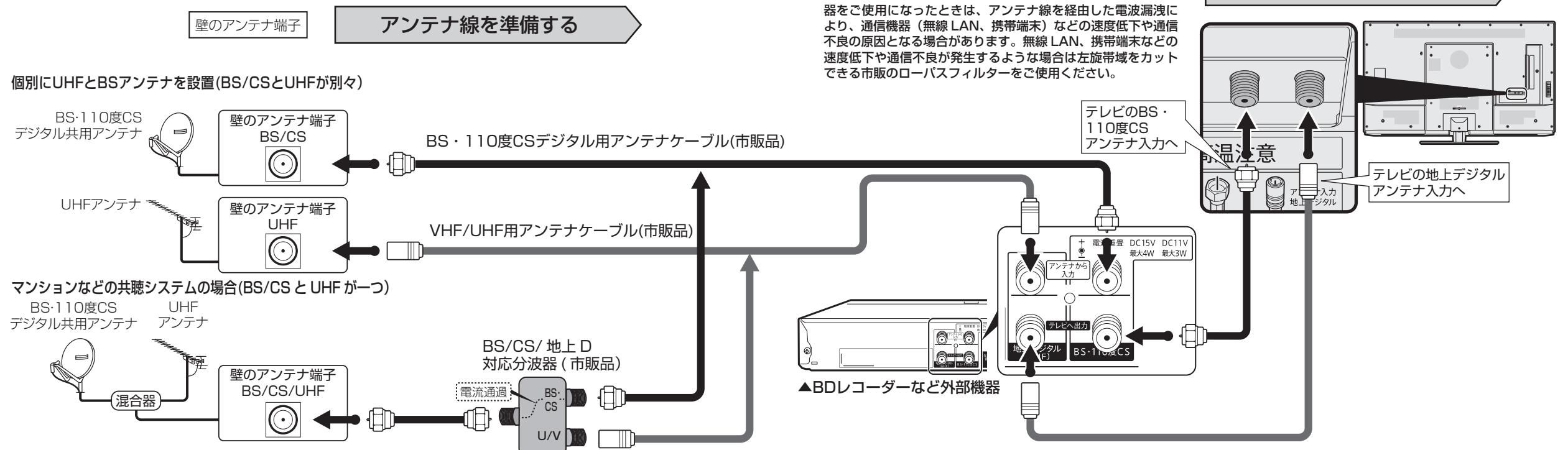
デジタル音声出力(光)端子

4-1 アンテナをつなぐ (つづき)

地上デジタル／BS・110度CSデジタル放送用アンテナとつなぐ



デジタルチューナー搭載のレコーダーをつなぐときは



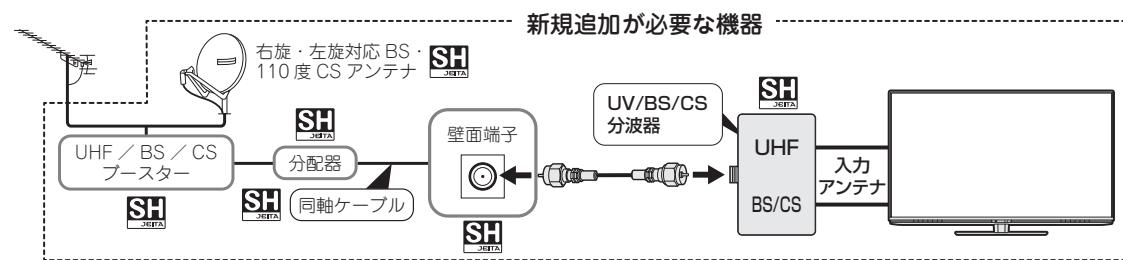
4-2 レコーダーなど外部機器とテレビを接続する

- 新4K8K衛星放送とは、BS・110度CSで2018年12月に開始された4K・8K放送です。映画、スポーツ、音楽など様々なジャンルを高精細の映像でご覧いただけます。
- 本機は、BS・110度CSの4K放送に対応したチューナーを内蔵しています。8K放送には対応していません。

現在のBS・110度CSアンテナ(右旋)設備で4K放送を楽しむ

- 「地上デジタル／BS・110度CSデジタル放送用アンテナとつなぐ」(9ページ)の接続方法をご確認ください。
 - アンテナ受信状態は、BS4K／CS4K放送に切り換えてからツールボタンを押して設定メニューから「初期設定」→「アンテナ設定」で確認できます。
 - 4K放送を視聴する場合は、受信レベルが「26」以上になるように、アンテナの向きやブースターを調整してください。
- ご覧いただける4K放送(右旋)**
- NHK BS4K、BS日テレ4K(2019年9月予定)、BS朝日4K、BS-TBS4K、BSテレ東4K、BSフジ4K(2019年8月時点)

新しいBS・110度CSアンテナ(左旋)設備で4K放送を楽しむ



- BS・110度CS右左旋共用アンテナなどの設備の場合、上記の右旋で放送される4K放送に加えて、左旋で放送される4K放送をご覧いただけます。
- 混合器やブースター、分配器、分波器などの受信設備はSHマークの付いているものをご使用ください。
- SHマーク(スーパー・ハイ・ビジョン受信マーク)は、BS・110度CS右左旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人電子情報技術産業協会で審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパー・ハイ・ビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。
- アンテナ受信状態は、BS4K／CS4K放送に切り換えてからツールボタンを押して設定メニューから「初期設定」→「アンテナ設定」で確認できます。
- 4K放送を視聴する場合は、受信レベルが「26」以上になるように、アンテナの向きやブースターを調整してください。

ご覧いただける4K放送(左旋)

- 上記に加えて、ザ・シネマ4K、ショッップチャンネル4K、4KQVC、WOWOW(2020年12月予定)、J SPORTS1(4K)、J SPORTS2(4K)、J SPORTS3(4K)、J SPORTS4(4K)、日本映画+時代劇4K、スターチャンネル、スカチャン14K、スカチャン24K
- 有料放送チャンネルは、放送局との受信契約が必要です。
- 有料放送チャンネルのご契約には、ACAS番号が必要です。ホームボタンを押してメニューの「お知らせ」→「ACAS」から番号を確認できます。

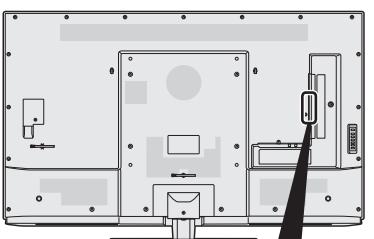
(2019年8月時点)

- ◇ご注意◇
- 新4K8K衛星放送に関するお問い合わせは下記のホームページを参照ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 (<http://www.apab.or.jp/4k-8k/>)
 - 現在使用中の機器などの性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。また、上記のほかに、今後、衛星放送用受信設備の技術基準を踏まえ、機器交換や工事が必要な場合があります。

HDMI出力端子付きレコーダーやCATVボックスなどを接続

- アンテナ線の接続が済んだらHDMIケーブルでテレビと外部機器を接続します。

▼本体背面



入力1・入力2・
入力3端子



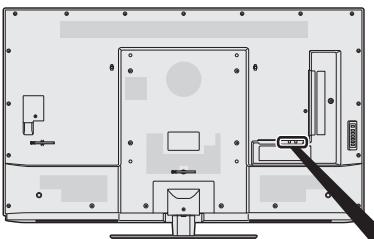
HDMIケーブル(市販品)
HDMI端子へ

ケーブルテレビ
専用受信機

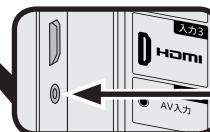
・接続については、CATV
(ケーブルテレビ)会社
にお問い合わせください。

必ず市販のHDMI規格認証品(ハイスピード
タイプ)をご使用ください。
規格外のケーブルを使用した場合、映像が映
らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作
しない、映像にノイズが発生するなど、正
常に動作しない場合があります。

▼CATVボックス、ビデオ、
ゲーム機器などを接続



本機の入力5(AV入力)
端子につなぐ



映像・音声
出力端子
映像・音声
入力端子
につなぐ
同じ色に接続します
AV端子変換ケーブル
(市販品)

◇おしらせ◇

- CATV(ケーブルテレビ)会社が地上デジタル放送をパススルー方式で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。
- 本機で受信できるのは、「UHF帯」「VHF帯」「ミッドバンド(MID:C13～C22)帯」「スーパー・ハイ・バンド(SHB:C23～C63)帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

HDMIに対応している映像信号

- 2160p (24Hz/30Hz/60Hz)、1080p (24Hz/30Hz/60Hz)、720p、1080i、480p、480i

HDMIに対応している音声信号

- 種類:PCM (2ch) サンプリング周波数:48kHz / 44.1kHz / 32kHz

5 電源コードをつなぐ

!**注意**

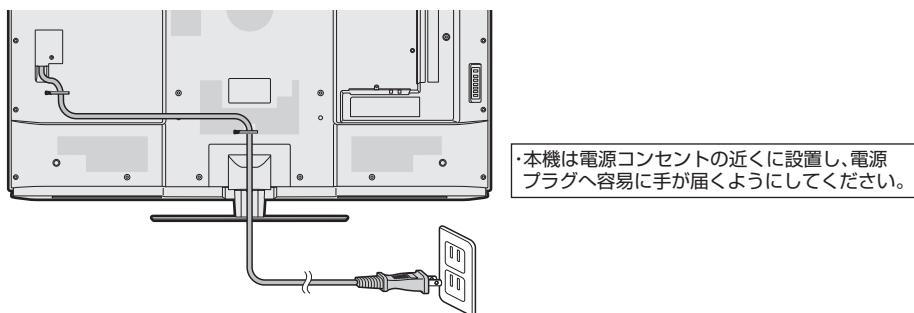
接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

◆ 重 要 ◆

- ・電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- ・電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「録画予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。(再設定できないものもあります。)
- ・使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

本体背面のケーブルバンドの形状をご確認の上、下記手順を行ってください。

背面の電源コードの電源プラグを、ご家庭のコンセントに接続する



◆ 重 要 ◆

録画予約設定時や録画中は電源コンセントから電源プラグを抜かないでください。

- ・電源プラグを抜くと…
 - ・予約が実行されません。
 - ・録画が停止します。
 - ・録画中、または録画予約中に電源プラグを抜いたり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれことがあります。

消費電力について

・本体の電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

◇ おしらせ ◇

- ・本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。)

6 転倒防止対策をする

!**注意**

- ・地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- ・転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

6 転倒防止対策をする(つづき)

◆ 重 要 ◆

- ・必ず2人以上で作業を行ってください。
- ・台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- ・テレビをテレビ用ラックやシアターラックなどの上に置いた際、転倒防止ベルトを使用して転倒防止を行うときは、テレビ用ラックやシアターラックなどの説明書をよく確認してから行ってください。商品によっては、ネジの打ち込みが禁止されている、ネジの長さやネジを打ち込める場所が指定されている場合があります。ネジを打ち込む先に電気回路などがあると、ショートして火災・感電・故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。(⇒2ページ)
- ・転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

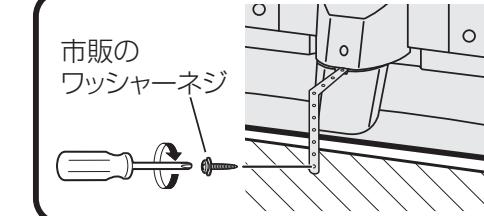
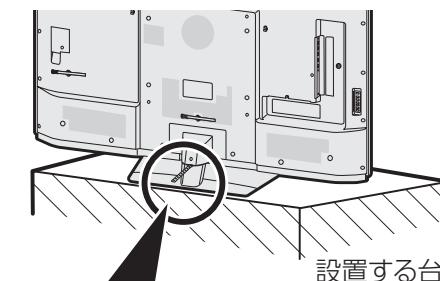
テレビ台などに固定する

4T-C60BH1

1 設置する台などの上に位置決めする

2 市販のワッシャーネジを使い、転倒防止ベルトの穴に上からネジを取り付けて固定する

- ・市販のワッシャーネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。
 - ・転倒防止ベルトの穴の内径は4mmです。M4のワッシャーネジを使用してください。
 - ・ワッシャーの大きさ(直径)はΦ10～Φ12mmのものを使用してください。
- ※「M○」とはネジ部の径が○mmであることを表します。



4T-C50BH1 / 4T-C40BH1

1 設置する台などの上に位置決めする

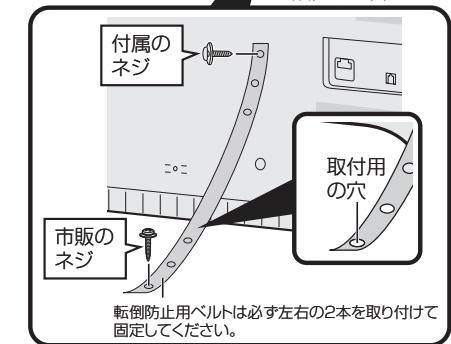
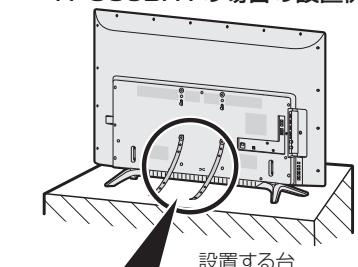
2 転倒防止ベルト取付用ネジ2本で転倒防止ベルト2本を本機に取り付ける

3 市販のワッシャーネジを使い、転倒防止ベルトの穴に上からネジを取り付けて固定する

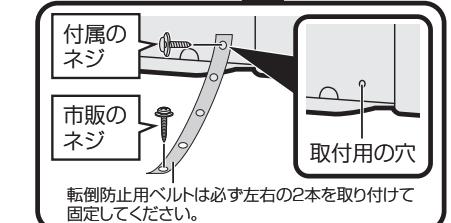
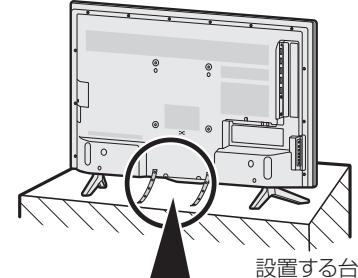
- ・市販のワッシャーネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。
- ・転倒防止ベルトの穴の内径は4mmです。M4のワッシャーネジを使用してください。
- ・ワッシャーの大きさ(直径)はΦ10～Φ12mmのものを使用してください。

※「M○」とはネジ部の径が○mmであることを表します。

▼4T-C50BH1の場合の設置例



▼4T-C40BH1の場合の設置例



7 「かんたん初期設定」をする

- お買いあげ後、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。

初期設定の画面が表示されないときや、引っ越しなどで設定をやり直すときは

- ツールボタンを押して設定メニューから「初期設定」 - 「かんたん初期設定」を行ってください。



1 電源を入れる

電源コードのつなぎかた

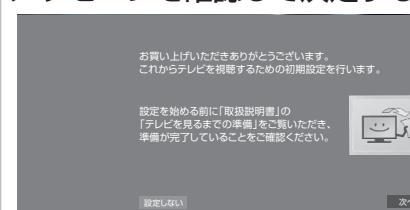
⇒ 12 ページ

電源の入れかた

- 電源ボタンを押すと、POWER（電源）ランプ（4T-C60BH1）、またはPOWER/TIMER・REC（電源／タイマー・録画）ランプ（4T-C50BH1／4T-C40BH1）が緑色点灯し、電源が入ります。

2 決定を押す

メッセージを確認して決定する



- 途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。

「リモコンと本機のリモコン番号が異なるため操作できません。」と表示されたときは

- 「リモコン番号設定」(⇒「取扱説明書」(別冊) 11 ページ) を行ってください。

3 決定を押す

アンテナ線の接続を確認して決定する

4 決定で選び決定を押す

BS・110度CSまたはBS4K・110度CS4K放送の視聴確認をする

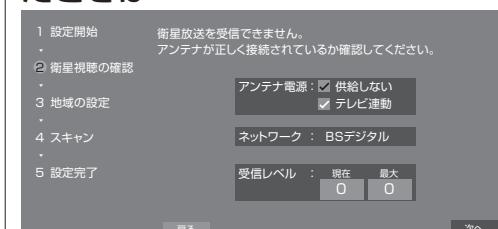
- 視聴する場合は「視聴する」を選んで決定し、「次へ」で決定します。
- 視聴しない場合は「しない」で決定します。

5 決定を押す

◇ おしゃらせ ◇

- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

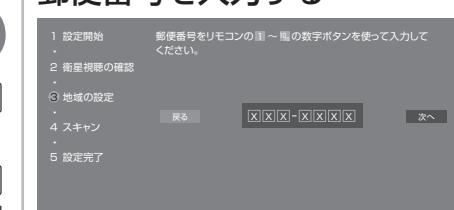
手順 4 の後に次の画面が表示されたときは



- 受信レベルの現在値が「26」以上になるようにアンテナ線の接続を確認してください。

5 決定を押す

郵便番号を入力する

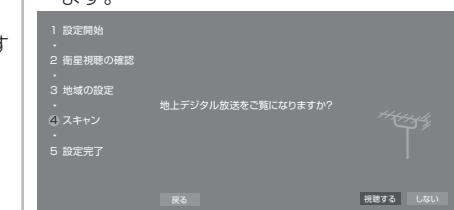


- 「0」を入力するときは [10] を押します。

6 決定で選び決定を押す

地上デジタル放送の視聴確認をする

- 視聴する場合は「視聴する」を選んで決定し、「次へ」で決定します。チャンネルスキップが開始されます。
- 視聴しない場合は「しない」で決定します。



7 決定を押す

メッセージを確認し「完了」で決定する

- これで設定は完了です。
- 映りかたを確かめましょう。
- 放送が受信できないときは ⇒「取扱説明書」(別冊) 37 ページ
- USB ハードディスクを接続している場合は、つづけて初期化を行うことができます。

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- UHF アンテナの接続を確認してください。

アンテナ接続を変更したときや、移転などで BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは

- ⇒ Webで確認
(リンク先は「取扱説明書」(別冊)の表紙をご覧ください。)

無信号オフについて

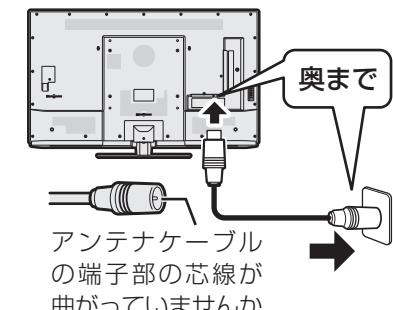
- 本機は、テレビ放送終了後など、番組が映らない状態になると約 10 分後に電源がオフになるよう設定されています。
- 設定を解除する場合は、ツールボタンを押して設定メニューから「機能設定」 - 「省エネ設定」で「無信号オフ」を「しない」に設定してください。

テレビを見るまでの準備

8 放送が映らないときは

アンテナの接続を確認

- 「地上デジタルアンテナ」と「BS・110度CS デジタルアンテナ」を間違えて接続していませんか。
- レコーダーなどを経由してテレビへアンテナ線を接続しているときはレコーダーなど外部機器の「アンテナから入力」と「テレビへ出力」を間違えて接続していませんか。
- アンテナケーブルの端子は奥まで確実に差し込まれていますか。



確認が済んだら再度「かんたん初期設定」を行ないます。